

調査期間 2013年7月16日～継続中

所在地 伊勢原市子易地内

時代 近世、中世、奈良・平安、古墳  
縄文

調査原因 中日本高速道路株式会社による  
新東名高速道路建設事業に伴う  
埋蔵文化財発掘調査

遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅の北西約  
3.5キロに位置する。



### 主な調査成果

丹沢山地南東縁に立地する遺跡で、2013年度から継続して調査を実施しています。過年度調査において、古墳時代の横穴墓群、中世の大規模な地業層と池状遺構、呪符木簡など、遺跡の内容を書き換える特筆すべき遺構、遺物が発見されました。本遺跡最奥部（西端部）は『安楽寺』廃寺跡とされる平場となっていますが、2015年度はこの寺域と目される平場とその東側に占拠する池状遺構（第3～6面）の調査を中心に実施し、『安楽寺』の参道と考えられる石段や境内前縁に積まれた石垣（近世以降）、『安楽寺』本堂の翼廊と考えられる礎石建物跡（中世）、西縁側や東縁側の一部に州浜状の礫敷きが見られる池状遺構とそれに付帯する人工的に構築・整備された堰堤（中世）などが発見され、これまでの成果を補完して余りある新たな知見が得られました。



『安楽寺』石段・石垣（北東から）



中世の礎石建物跡（南から）



中世の池状遺構第4面（東から）



中世の池状遺構東縁の堰堤（南から）